

寿楽苑だより

122号



社会福祉法人 舟見寿楽苑

発行責任者/施設長 高村 敏 明

〒938-0103 富山県下新川郡入善町舟見1664

TEL 0765-78-1935 / FAX 0765-78-1941

e-mail : jurak273@funamijurakuen.jp

http://www.funamijurakuen.jp

舟見寿楽苑

検索

発行/令和 5年 3月20日

節分で豆まき

2月3日の昼下がりのことです。

入居者様が、広場で、のんびりゆったり過ごしていると、そこへ現れたのが、赤鬼と青鬼たち。

それに気がつくと、広場のあちこちから「うわあー」と、驚きの声。

入居者様は、豆がわり紅白の玉を握りしめ、「鬼は、そと。福はうち」と声を上げながら、鬼めがけ思いっきり投げつけます。

「鬼、こっち来るな」

「あっち、行ってしまえ」

「鬼なんか、おっかなないぞ」



豆をぶつけられた鬼たちが、頭を抱えて「あいたた」と退散すると、入居者様はそれまでの真剣な顔からニコニコ顔へと、表情が一変です。

「なんて、でかい鬼やったが」

「あの金棒固いとおもったがに、さわったら、やこかったよ」

「玉かけたら、痛い痛いって、逃げてったぜ」

「ほんとは、弱い鬼たちやったがかも知れんね」

無病息災を願っての節分では、突然やって来た鬼たちを見事退治でき、笑顔あふれる楽しい時間を過ごすことができました。

百歳、白寿、米寿の入居者様が勢揃いの誕生日会

2月28日、喜楽苑のひまわり広場で、百歳、白寿(99歳)、米寿(88歳)等を迎えられた入居者様の誕生日会を開催しました。

満百歳は、小森キク工様です。そして、白寿は梨木きみ様。米寿は、田中邦子様です。

誕生日会の会場には、水戸黄門一行の3人も駆けつけ、お祝いの花束などを贈呈。

百歳を迎えた小森様は、「今が、一番幸せやよ。こんなとき、何言やあいか、わからんわ。食べたいのは、バナナ」と、しっかりした口調で、黄門様の質問に答えていました。



ひばり野苑



節分で「鬼さん堪忍」

2月3日、ユニット広場に「鬼はそと。福はうち」と、入居者様の声が響きます。

鬼めがけて投げる玉にも力が入り、あちこちから飛んでくる玉に、鬼は「あいたたた」とタジタジ。

笑いながら、赤鬼に「あの青鬼、デカイね」と、話しかける入居者様。

また、その横から「鬼さん堪忍、ぶつかって痛かったろう」と、優しい言葉でねぎらう入居者様も。

最後は、鬼と一緒に記念写真撮影で仲直りでした。



お楽しみ会前に大波小波ゲーム



3月5日、桃の節句お楽しみ会が始まる前、「大波小波ゲーム」で体を動かしてリフレッシュです。

ボールがシートの丸い穴へ落ちないように、入居者様が協力しあいます。

「ほらっ。そこ」「あっ。落ちる落ちる」などと、互いに声をかけあうなど一致団結。

ゲームで体を温めた後は、飾られた雛人形を見ながら、本格的なお点前で立てた抹茶と、和菓子を召し上がっていただきました。



デイサービス

パックン豆まきゲーム

2月3日、段ボール箱で鬼の顔に似せて作った口の部分を開閉し、そこへ利用者様が豆を投げ、入れた数を競う「パックン豆まきゲーム」を行いました。

豆は、新聞紙を丸めて作った、大きなもの。その豆を握りしめ、開いた口目がけて投げるのですが、「タイミングが合わなくて、なかなか入らんわ」。

一方、「入った、入った。いっぱい入ったぞ」と大喜ぶ入居者様もいるなど、「パックン豆まきゲーム」は、大盛り上がりでした。



丸亀製麺ゲームはテープと豆で



2月14日、うどんを箸でつまみ、それをどれだけお椀に盛りつけることができるかを競う、「丸亀製麺ゲーム」を行いました。

うどんの麺に見立てたのは、白いビニールテープです。その麺と、豆で代用した天かすを、箸で挟もうとするのですが、「この天かす取るが、難しいわ。つつるやから、なかなかのせられんもん」。

終わると、利用者様から「このゲーム、楽しかったわ。もう一回やりたいね」の声が聞かれました。



新聞紙のボールで豆まき

2月3日の午後、ユニット3か所で節分の豆まきを行いました。

新聞紙を丸め、ボール状にしたものを豆代わりにし、赤鬼と青鬼めがけ「えいっ」ところが、投げる力が足りなかったのか、鬼へは届かず手前でポトっ。

「なんで、届かんがいる。悔しいわ」

次に力を込めて投げると、鬼に命中「かつかったぞ」と大喜び。この日「今年の鬼は体が大きかったけど、優しくったね」と、豆まきの話題は尽きませんでした。



水戸黄門 in 喜楽苑



2月7日の午後、広場に突然、水戸黄門様ご一行が現れました。

入居者様は、「あれっ。黄門様が来られたわ」「どこどこ。あっ、本当や。びっくりやぜ」と大賑わいです。

なかには、黄門様を見て、感激したのか涙を流す入居者様も。黄門様は入居者様一人ひとりへ優しく声を掛けながら、「この冬の寒さを乗り越え、いつまでも元気で、長生きしてください」と入居者様に言い残し、次の宿場へと旅立って行きました。

行 事 等



楽しいひな祭り

3月3日、喜楽苑でひな祭りを開催しました。

入居者様は、飾られたひな人形を順番に見るのですが、おひな様がよほど気に入ったのか、その場に立ち止まって動こうとしない方も。

ボーリング大会に続いて、ひな人形の形をしたお菓子と緑茶の時間では、「うまいわ」と笑顔が途切れません。そこへ、ジューディオンが登場すると、会場は大盛り上がり。「記念写真を撮ってもらえんやるか」の声も上がり、歌の後一緒に「はい。チーズ」。



デイサービス通路に花の壁飾り



2月初旬から、デイサービス通路に花の壁飾りが貼られ、前を通る人が足を止めて見入っています。

壁飾りは、利用者様のご協力を得、約3週間かけて作り上げた大作。

花びらが何枚も重ねてあり、立体感のあるように見える、こだわりの作りです。

壁飾りの前で利用者様が、「見てみっしやい、花がいっぱいで、ここはもうすっかり春やぜ」「だからかね。なんやら心の中まで、ほかほかして来るわ」。

まごころ善意

令和 5年 1月18日～令和 5年 3月17日
(順不同・敬称略)

寄付金

・佐々木 経信 ・匿名



寄付物品

・佐々木 経信 ・湊屋 優子 ・鬼原 義博 ・島崎 厚子 ・早川 久義 ・宮川 玲子
・匿名

ありがとうございます



ご家族様・関係する皆様へ

面会は、これまでオンライン限定となっておりますが、4月1日から併せて窓越し面会も再開します。恐れ入りますが、事前に空き時間等についてお問い合わせの上、ご予約くださいますようお願い致します。また、ボランティアの受け入れは、感染症等を防ぐ観点などから4月1日以降も一部を除いて、引き続き中止とさせていただくことになりましたので、お知らせします。

入居者様とおひな様



新入職員紹介



このたび看護師として働く事になりました小坂好美です。病院では、小児科と療養病棟で33年間勤務した経験が。

生まれは舟見で、近くにある山や舟川など、どこを見ても思い出がたくさんあり、その舟見の地で働く事が決まり、とても嬉しく思っています。

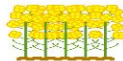
体力と忍耐力には自信があり戦力になれる様頑張りますので、ご指導の程よろしくお願い致します。



3月1日付け、看護師として勤務することになりました松田秀子です。

5年前親の介護のため入善に戻り、今回縁があって、祖母が亡くなるまでお世話になった寿楽苑で勤務することになりました。病院、老人保健施設、訪問看護を経験したのですが、特養は初経験です。

仕事の流れ等を理解しながら、業務に努めていくつもりですのでご指導をよろしくお願い致します。



編集後記

寒さの残る日の朝、散歩へ出かけたとき、橋の上で、しゃがんでいる男性がいるのに気がつきました。細い棒のような物を持っており、見ると釣竿。「こんな寒い日でも、じっと我慢できるんやね」と私。すると連れが、「仕事なら嫌かも知れんけど、趣味は違うよ。嫌なことにもみえても、心の持ちようが変わってくるから」。

顔を上げ、川の向こう岸、杉の木の間から、白い煙がモクモクと上がっているのを見つけた連れが、「あの煙のとこ、人々が生活していること分かるわ」と。そして、「今、外で燃やすのは問題やけど、薪で炊いたご飯、どれだけおいしかったことか。光熱費も上るといいうし、なんか考えられんもんかね」。

困ったことをどう解決するか、それを楽しめるようなら面白くなるのに、嫌なことから逃げてばかりのこの身。たとえ茨の道でも真正面から立ち向かい、明るい光を手に入れるための努力を、よもや怠ってなど。